

留萌教育局では、今年度留萌管内オンライン研修Accompaniment40を行い、管内の教職員の皆様が常に最新の知識・技能を学び続け、学校改善、授業改善に資することができるよう取組を進めております。

9月22日(木)に第5回目の研修を行いました。第5回NITS大賞優秀賞「京都府京都市立楊梅幼稚園『子どもの心が動く幼小接続～互いのあたりまえを越える～』」を視聴し、幼小接続に係る各校の取組について交流を行いました。本号では、研修内容とアンケート結果をとりまとめましたので各所属において校内研修等にご活用下さい。

## 第5回NITS大賞優秀賞京都市立楊梅幼稚園の実践について

### 【目標】

- 1 「見えにくい」と言われる幼児教育について、小学校教員の理解を深める
- 2 「探究・ふれあい・誇り」を視点に9年間の子どもの育ちをつなぐ
- 3 互いの教育のよさを生かし、「心が動く」保育・授業を創造する

### 【課題】

- 幼小接続の取組において、以下の課題が見られた。
- 1 互いの教育についての理解を深めること
  - 2 9年間の子どもの育ちをつなぐこと
  - 3 幼小接続による主体的・対話的で深い学びの実現

### 課題解決・目標達成に向けた取組

- 1 1週間、保育を公開し、自由な時間に参観する「ミシルウィーク」
- 2 子ども理解を深め、9年間の発達を捉える「エピソードシート」
- 3 同敷地内だからこそできる「交流授業」
- 4 事前、事後の協議を大事にした「研究保育」「研究授業」

### 取組の成果

- 幼小接続による教育の質の向上
  - ・ 幼児にとって小学校が身近な環境となり、興味や関心の醸成
  - ・ 小学校教育が見通しをもち、カリキュラムマネジメントの確立への寄与
  - ・ 小学校教員への発信の追求により、丁寧な環境構成や自身の援助の振り返りの向上
  - ・ 小学校教員の考え方が保育の援助の質の向上。

小学校と合同研究組織をたちあげ、育てたい資質・能力を視点とした教育課程を作成し、見えにくいとされる幼児教育を発信し、小学校とともに「心が動く教育」の創造に取り組んだ実践事例。

幼小連携の重みが増す中、今までの“当たり前”の交流活動を越えた様々な具体的な取組を視聴し、参加者とともに幼小連携について交流を図りました。



※【上表】発表動画を基に作成

## 参加者アンケートから

今回は3名の小学校の先生方とともに研修を行いました。アンケート内容をご紹介します。

- 小学校教諭 交流のねらいを共有し、交流活動を通じて、幼保小のどの子どもにとっても次の学びや成長につながる活動となるような働きかけを意識していきたい。
- 小学校教諭 幼小連携の具体的な取組や先行実践例を知ることができ、勉強になった。

なお、令和4年3月31日文部科学省において『幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き(初版)』が出されました。本手引きにおいて、例えば次の点に係る取組が求められています。

- 幼保小が協働し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりとして、育成を目指す資質・能力を視野に入れた、共通の視点を持った教育課程や指導計画等の策定・工夫。
- 幼保小の先生と一緒に振り返って教育課程や指導計画、教育活動等を評価し、改善・発展させていくこと。
- 取組全体を通じて、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、園と小学校の先生が、子どもの育ちを中心に据えた対話を通して相互理解・実践を深めていくこと。

このほかにも、本手引きには、幼保小接続に係る具体的な取組例等が記載されております。資料を次のQRコードとして添付しておりますので、校内研修等で是非ご活用願います。



## 第6回留萌管内オンライン研修Accompaniment40について

特に、生徒指導担当者等、生徒指導（不登校等）に係る実践事例に関心をお持ちの皆様、参加をお待ちしています

内容：生徒指導について 10月19日(水)16:00～16:40 (※10/17(月)15:00まで)

【視聴予定動画】第5回NITS大賞 受賞動画「月曜日に来なくなる学校づくり」

参加希望の方は、管理職に相談・報告の上、申込み期日までに次のQRコードから申込みください。次回以降のZoom IDとパスコードは本資料事務連絡を参照願います。